

声を届けよう

生徒の皆さん、もっと声を出しませんか。いろいろな人に自分の声を届けませんか。この声には3つあります。

一つは、授業中の声です。授業でのペアやグループあるいは全体での発言や発表です。ペアやグループで教え合うこともそうです。人に教える、人に説明するというのは、一番学力がつく方法です。

話すためには考えなければなりません。書くことは考えることです。考えたことは声に出さないと相手には伝わりません。声に出すだけでなく、その声が相手に届かなければ伝わりません。届くためには、その場に合わせた声の大きさがが必要です。相手にわかってもらえるような中身も大切です。相手に理解してもらうために、考えながら言葉を選びます。

授業は毎日あります。声に出して話し合うことで、考えが広がったり、深まったりしていきます。いろいろな教科の授業を通して、お互いの声を届けるようにしていくことで、皆さんには力がついていきます。

二つめは、学級や学年、部活動、そして生徒会での声です。自分が所属している集団をもっとよくしていくために声を届けるのです。みんなで話し合うのです。自分の意見を出し合うということです。このことは、世の中で皆さんが活躍するようになったときにもきっと役立つはずです。

また、道徳の時間はどうでしょうか。道徳では、数学が苦手だとか英語が得意だとか美術が好きだとか、そんなに関係があるのでしょうか。みんなで自分の考えを出し合って考え合うにはいい時間だと思います。考える道徳、できれば議論できるような道徳にできると最高です。

三つめは、歌声です。3月13日（月）の卒業式では、3年生が「旅立ちの日に」を歌います。3年生は、「群青」という曲も聞いたことと思います。どちらも中学校の音楽の先生が作った曲です。「群青」は、東日本大震災に関わる歌です。例えば、来年度の文化祭「王梨音祭」で、震災に関係する企画を設（もう）けて、この「群青」を全校生で歌うというのはどうでしょう。

そして、歌声で一番意識するのは、合唱コンクールでの各学級の歌声です。ぜひ、合唱を通して、すばらしい学級をつくってほしいと思います。3年生は、卒業式の日、1・2年生に対して、立派な態度と「旅立ちの日に」の素敵な歌声を残していただくください。

生徒の皆さん、どんどん声を出しましょう。相手に自分の声を届けるようにしましょう。